

第6号議案（一般会計予算）に対する意見（会派等から）

◆自由民主党議員団、公明党議員団

- 1 予算の執行に当たっては、予算審査の中での指摘を踏まえ、今後厳しさが予測される区財政を鑑み、新規・拡充事業において執行の規模や時期について区民生活に影響を与えない範囲での大胆な経費の削減に努められたい。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による経済情勢に配慮し、十分に対応できる予算執行とされたい。

◆育児支援と防災緑地と平らな歩道の中野を創る会

- 2 外国人学校保護者補助の支給にあたっては、他の自治体において、保護者に支給した学費補助金を、制度の目的に反して、保護者が学校に納付させられる事例があるので、当区においてその様な実態がないかを調査し、その様な実態がない事を確認されたい。

◆無所属

- 3 新規事業の立ち上げにおいては、庁内で十分な議論と調整を行い、意思決定のプロセスを明確にした上で、議会への十分な説明をされたい。
- 4 高度な専門性を必要とする外部人材をアドバイザー等の形で採用するにあたっては、庁内での十分な議論と議会への速やかな報告をされた上で、進められたい。